



Doado pelo
Povo Japonês

ボン・ジェズース病院に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力援助

この度、在クリチバ日本国総領事館は、パラナ州トレード市のボン・ジェズース病院との間で、下記のとおり草の根・人間の安全保障無償資金協力による無償資金無償資金援助にて購入された医療機材の供与式を行う運びとなりましたので、お知らせ致します。

- 1 案件名： 「ボンジェズース病院手術センター医療機材整備計画」
- 2 供与限度額： 52,860米ドル
(伯貨174,430.13リアル、円貨6,852,560円)
供与式： 2019年1月9日(水)
於ボン・ジェズース病院(視察)及びトレド医師協会(供与式)

3 案件概要

ボン・ジェズース病院は1971年に数人の日系人医師により設立され、現在204床を有し、来院する7割以上が統一医療保険 SUS を利用する地域住民です。年間診察数は約5万件、手術件数は約7千万であり、市民及び地域住民、そして低所得者層の健康を支える大きな役割を果たしています。しかし、各種手術用機材が老朽化しており、国立衛生監督庁(ANVISA)の医療施設基準に適合していないため、最新の機材整備が必要となり、同病院は日本政府に対し草の根・人間の安全保障無償資金協カスキームによる資金援助を要請し、日本政府は右を承認、支援することとなりました。

本計画ではオートクレーヴ(高圧蒸気滅菌器)及び整形外科用電気ドリルの供与が実施され、これにより同病院の手術センターにおける今後のサービス品質向上及び混雑していた手術待ち状況の改善が期待されます。

本供与は、日本国政府が実施する「草の根・人間の安全保障無償資金協力」プログラムに基づいたものであり、同プログラムは日本国民が納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生、民生環境及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援すること目的としています。

問合せ先：在クリチバ日本国総領事館、草の根クレヴェルソン委嘱員
電話(日伯文化科学研究所内)(41)3362-3663



2018年は草の根誕生30周年
世界中に笑顔の種まきを

The 2018 marks 30years of KU-SA-NO-NE
Spreading Smiles throughout the World